



だれもが「大丈夫」と思える政治を

浅見みどり通信

日本共産党東村山市市議会議員 NO. 60

Higashimurayama City council member **Asami Midori**

ホームページ <https://asami.jcp-hihigasimurayama.net>

日本共産党



賛成できない2024年度予算

(反対討論の内容をまとめました)

★デジタル関連なら増えても問題なし?

DXに18億円、スマートスクールに6億円以上
総額いくらになるのか全容が不明確

★これでいいのか? 公民連携

- ① 市が培ってきた知見やノウハウが失われる
- ② 公共の役割が空洞化する
- ③ 倒産等、事業継続のリスクが避けられない
- ④ 事業者を選ぶ業務(アドバイザー委託料)や
駅前開発もコンサルティング会社に委託。委託
費用が膨らみ続けている
- ⑤ 市民への情報開示が不十分で税金が何に使わ
れるのか見えにくくなる
- ⑥ 委託先で働く人の雇用条件は事業者次第に。
官製ワーキングプアをうみ出しかねない

★自転車ヘルメット購入補助、住宅修改造補助の助
成はアインペイのみ。デジタル弱者への配慮に欠ける

★生活保護のケースワーカーは、国の標準的な配置
基準(80世帯に1人)に6名も不足

★政策の意思決定が男性ばかり



能力や稼ぐ力、障がいの有無、性差・年齢による格差
をうむ事業はあってはなりません。マイノリティの意見を
反映させてこそ住民福祉の向上は実現できるはず!

#困った時は共産党に相談しよう

市役所、ほっとシティ等に同行します

生活保護は権利

年金、仕事がある方、自宅に住んでいる方でも
生活保護は申請できます。

扶養照会は義務ではありません。

電話 **080(3086)2422**

メール kwiiykchan@tbz.t-com.ne.jp



ジェンダー平等をもっと前へ!



男性以外の声を政策決定に

予算委員会では、課長職以上の方が、議員への答
弁をします。今回の委員会でも、答弁者は男性ばか
りでした。

ということは、多くの政策が男性だけで決められて
いることとなります。約50課あるうち、管理職の女性
はわずか12%程度しかいないのですから・・・。

「元気な成人男性」を定型として進める事業ばかり
では、弱者への配慮が不十分になりがちではない
でしょうか。

3月議会で市長は「市政運営に様々な意見を反映
させて、包摂的な政策決定をすることには性別や年
齢を問わず多様な主体が関与することは非常に重
要だ」と肯定的に答弁しました。

「がんばれる環境にある女性」だけが管理職になれ
るような仕組みではなく、職員を増やし、働き方の見
直しで多様な声を市政に活かしてほしいです。

東村山市職員の男女比率

役職名	男性：女性	女性の比率
部長	13人：1人	7.1%
次長・課長	61人：8人	11.5%
全職員	431：364	45.8%

※R5 1/1 時点